

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

平成二十七年公民館事業

重点事業項目を追加

平成二十七年公民館事業の基本方針と重点事業が決まりましたので、概要をお知らせします。

- △基本方針▽
 - ・学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化
 - ・学・社・民の融合による地域教育力の向上
 - ・市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実
 - △重点事業▽
 - ・地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業
 - ・学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業
 - ・家庭の教育力の向上を支援する事業
 - ・青少年の生きる力を育む事業
 - ・高齢者の学習や社会参加を支援する事業(新規追加)
 - ・現代的課題を探り、解決を支援する事業
- それぞれの項目に対する小須戸地区公民館の具体的な事業名と事業目的などは、四月号でお知らせします。



小須戸の歴史散歩
(7月開催)



ブチ書道教室
(12月開催)

まゆ玉づくり体験 (1月開催)



すまじゅと一言

高校生活の記憶

今振り返ると、高校時代は中学よりも早く過ぎ去っていききました。大きな事件もなく、平穩に三年間の最後を迎えています。
一・二年の時は、バドミントン部の活動が忙しくて、友人と遊ぶ機会は全くありませんでした。それでも、充実し



新津南高校3年 吉田 月乃 さん

た毎日を通して感じています。きつい練習をしてきたことで、根気強さが身につきました。体力もついたので、やつ

て良かったと思っています。三年生になり、受験の準備に追われました。しかし、六月に部活が終わり、友人と遊ぶ機会が出来ました。受験も無事に終わり、卒業後は希望していた作業療法士の道に進みます。
高校生活も本当に残り少なくなりました。穏やかに卒業式を迎え、新しい世界に巣立って行きたいと思っています。

まちセン開館記念式典

待望のおうちの施設

地域住民待望の施設「小須戸まちづくりセンター」が、四月一日に開館します。この施設の完成を祝って、四月五日(日)に、開館記念式典が開催されます。当日は、午前十時に式典と

して関係者によるテープカットのあと小須戸出身のピアノ奏者 梅津幹子さんとヴァイオリン奏者 加藤礼子さんの演奏が行われます。入場はどなたでもできますが、会場に制限があります。

で、入場券が必要です。入場を希望される人は、小須戸出張所とふれあい会館(矢代田)に整理券がありますので、申し出てください。
入場券は先着順で100枚の予定で、三月二十日(金)から申し込みが可能です。また、当日は、小須戸喧嘩太鼓や「結心こすど」の皆さんによるよさこい演舞も披露される予定です。



写真 右上 2階 和室
右中 2階 調理室
右下 2階 研修室
左上 3階 多目的ホール



お知らせ

4月1日(水)から電話番号・FAX番号等が変わりますので、ご注意ください。

<小須戸地区公民館>

住所：〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
電話：0250-25-5715(代表)
FAX：0250-38-5210
(小須戸出張所に同じ)

<小須戸まちづくりセンター>

住所：〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地1
電話：0250-25-7069
FAX：0250-25-7094

図書室からお知らせ

小須戸の小向生まれの文人 北町一郎さん(本名 会田毅(一九〇七年～一九九〇年))の小説をまとめた本が昨年九月に発行されました。
四月開館の「まちづくりセンター」の図書室に入る予定ですので、是非ご覧ください。
書名：北町一郎探偵小説選Ⅰ
北町一郎探偵小説選Ⅱ

みんなが集まれる

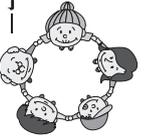
居場所とは・・・

「コミュニケーション・コーディネーター育成講座終了」

「コミュニケーション・コーディネーター」とは地域活動の担い手であり様々な団体等で活動し、地域のつなぎ役となる人です。



居場所のイメージについて話し合う



いろいろなケースの経験談などを聞き、現在行っている地域の茶の間活動の参考にしたい」と要望がありました。

平成二十四年度から三年間、地域課・健康福祉課・社会福祉協議会・包括支援センター等と共催で開催してきた公民館事業の講座ですが、今年度は「みんなが集まれる居心地のよい居場所」をテーマに開催し、二月二日、二十日の二回シリーズで本講座を終了いたしました。

二回目は前回のグループワークで討議された内容を基に社会福祉協議会の職員を講師に講演会を行いました。家族の中で孤立している世代があり、子どもから高齢者までだれもが集まれる居場所が必要であることとそういう場所を立ち上げ運営していくには「何のためにやるのか?」「目的や理念の大切さを聞くことができました。参加者からは「もつ」という

小須戸中

佐々木さん 特別賞受賞!

新潟県書道教育研究会主催による平成二十六年度の書初め大会で、小須戸地区では次のみなさんが入賞しました。

- 【特別賞(毛筆)】 佐々木明弘(小須戸中一年)
- 【特選(毛筆)】 高野 徹裕(小須戸小四年) 高橋 咲(小須戸小六年)
- 【準特選(毛筆)】 保科 百(矢代田小三年) 本間 凜子(小須戸小五年)
- 【準特選(硬筆)】 石井 伶奈(小須戸中一年)
- おやなぎ リコ(矢代田小一年)
- 長谷川晏未(小須戸小二年) 長谷川珠那(小須戸小五年)

学校緑化・栽培ボランティア募集

春からの新しいボランティアさん募集します。どなたでも気軽に参加できます。花づくり、土づくりが好きな方や、平日の昼間少しだけ時間に余裕のある方、ぜひ子どもたちの元気な笑顔に会いに小学校へおいでください。毎月第1、3金曜日午前9時から10時30分まで作業を行います。※男性ボランティアさんも大歓迎です。問い合わせ 小須戸小学校 ☎38-3500 小須戸小学校地域教育コーディネーター 村井 090-6199-3921



小須戸小学校6年生木版画&4年生小須戸調査隊カレンダー展

本年度の小須戸小学校6年生が、「6年の思い出・学校生活」のテーマで制作した木版画を展示します。また合わせて小学校4年生の地域学習の成果である「小須戸調査隊カレンダー」も展示します。この機会に、子どもたちの作品をぜひご覧ください。

日時 4月12日までの土、日、祝日 午前10時から午後6時 (最終日12日は午後3時まで) 会場 町屋ギャラリー薩摩屋 主催 小須戸小学校区コミュニティ協議会 協力 小須戸小学校



平成27年度の箏始め(会員募集)

お箏を通じて交流の場をひろげませんか!

いつからでも、始められます。大人から子どもまで、親子でも誰でも気軽に楽しめます。日時 第1土曜日 午前10時~正午 第3土曜日 午後1時~午後3時 会場 小須戸まちづくりセンター [和室] 講師 佐藤 雅楽斐 参加費 受講料は無料。楽器も無料でお貸しします。*ただし必要に応じて少額実費負担の場合があります。お問い合わせ 090-5307-4689 (小嶋) 0250-38-3003 (千葉)

未経験・初心者の方も大歓迎!



声で情報お届けします

音声訳 糸の会

ボランティアグループ「音声訳・糸の会」が活動を始めたのは昭和六十三年三月一日からで、現在の会員は六人です。毎月一回(十五日の予定)の定例会で「こすど地区公民館報」を交替でテープに録音し、視力に障がいをお持ちの方へお届けしています。他に文字が読みにくい方など一人でも多くの方に、もっとご利用いただきたいと思えます。また月一回の活動では、朗読しながら発声方法など研修した後、お茶を飲みながら和気あいあいと過ごしています。幅広い世代の会員同士、生活の知恵など教えあったり楽しい話題で盛り上がりませぬ特別な資格は要りませぬの



真心こめての録音風景

【お問い合わせ・申込み】 小須戸地区公民館



文芸欄

俳句	川柳	短歌
風荒ぶ山の寝息の聞こえけり 枝折れしまの街路樹冬芽立つ 初場所の天覧相撲沸かせをり おでん鍋焼し子の箸夫の箸 山の端の残雪染むる入日かな 恵方巻がぶりと福を招きけり 淡雪や今登りくる臘月 時をりは弥生の雪となりけり	雪囲い解かれ庭木も背伸びする 畦塗りを父の地下足袋待ち俺びる 里帰り母の得意な木の芽和え 春風の誘いに芽吹く落のとう	庭の梅窓際に寄り眺むれば 春の陽浴びて花芽ふくらむ 小正月に炊きし小豆粥ほつりと 祖母がつくりし昔の味する 耳もとに猫のゴロゴロききながら 眠る幸せ湯タンボいらす
中野太浪 風間幸子 井本マツ子 渡辺信子 乗 たく 馬場綾子 上田スミイ 佐久間久子	会田 修 保科志枝 能登としお 増井都留	玲 泉 高橋キヨ こみけ

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)住所、氏名(ペンネーム可)電話番号を明記し3月17日(火)までに小須戸地区公民館へ。

「シリーズ」今、子どもたちは (215)

小須戸中学校教頭 逸見 東子

これらの取組を通して、生徒は学校の教育活動とは異なる場で、多様な人とのかわりを体験し、貴重な体験を積んでいる。様々な年齢・立場の人たちと一緒に活動することを大切にしていきたいと思っています。



親水公園クリーン作戦

「シリーズ」今、子どもたちは (215) 毎年、小須戸親水公園クリーン作戦で地域との活動がスタートします。今年は四月十三日に行われ、百五十八人が参加しました。朝霧が残る早朝の活動で、参加した生徒たちが充実した表情をしていたことが印象に残っています。その後も、花植えや清掃活動、職業にかかわる講師や体験活動など地域の活動を進めます。また、夏祭りの準備・後片付け、福祉施設訪問、幼児や児童との交流など多くの活動を地域教育コーディネーターとともに、ボランティア委員が中心となって行っています。